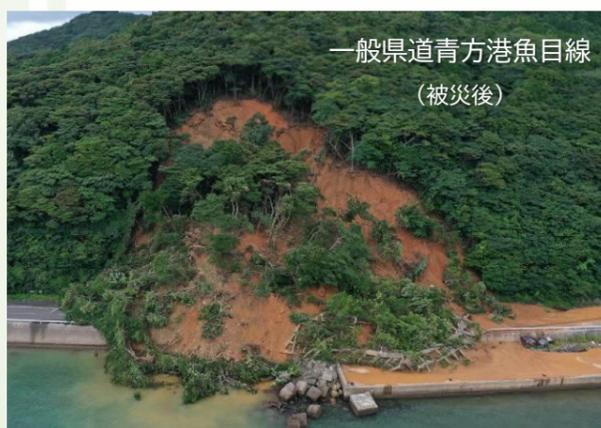




災害に強い道づくりのために 長崎県道路防災事業計画



長崎県の道路防災への取り組み

長崎県では平成 21 年 3 月に「道路防災事業計画」を策定し、第二期(平成 27 年度～令和 6 年度)を経て、令和 7 年度から第三期となります。これまで年に 1～2 回の点検と対策を実施してきました。第二期から 10 年経過し、これまでの防災対策の実績や点検結果を反映するために令和 5 年度～令和 6 年度に「長崎県道路防災事業計画検討委員会(委員長:長崎大学 蔣教授)」を開催し計画見直しを行いました。



委員会の開催状況(R6.8)



道路災害の状況(R3.8)
落石・崩壊((主)獅子津吉線)

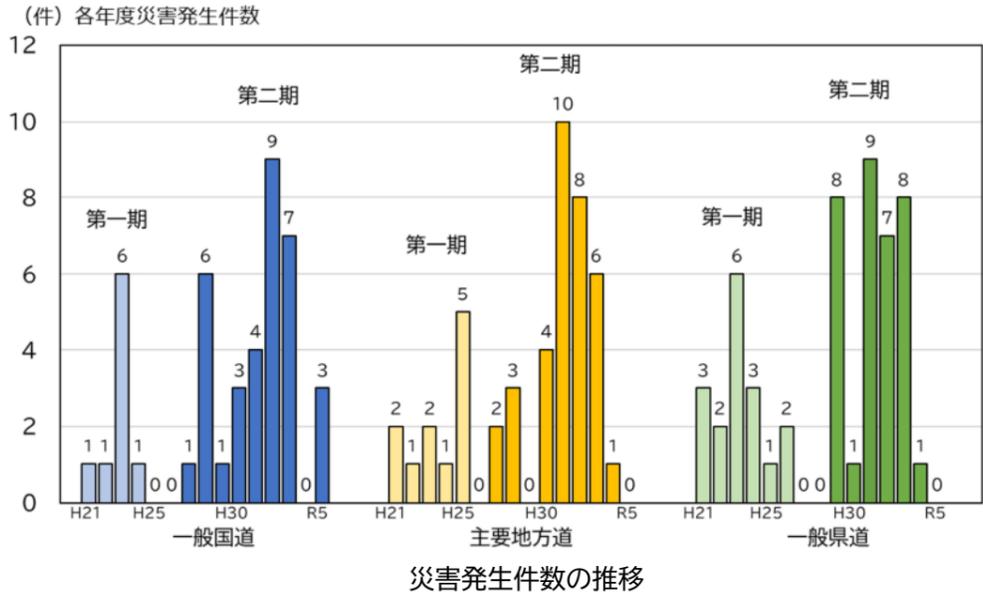
道路防災の現状

第二期では 102 件もの道路災害、224 件の通行止めが発生し、通算 9,000 時間を超える通行止めが発生しており、依然として防災対策の必要性が高い状況です。

【道路災害の状況】

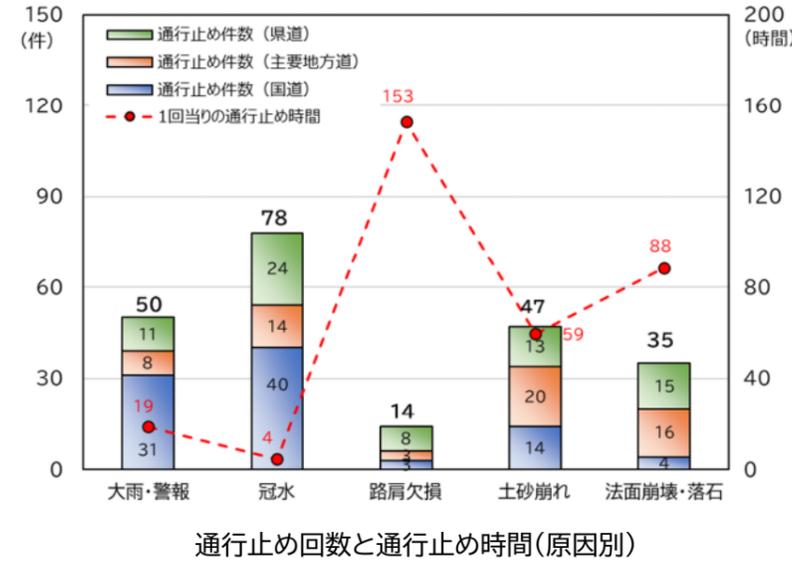
●災害発生箇所数の実態

第二期では、豪雨等を原因とした道路災害が 102 件発生しています。令和元年度～令和 3 年度は降雨量が例年より多かったこともあり、災害発生件数が増加しました。



●通行止めの発生回数と通行止め時間

第二期では、通行止めが 224 件発生しています。発生原因は冠水が最も多く、通行止め時間は路肩欠損で 1 回あたりの時間が長くなる傾向となっています。



道路種別	第一期(H21~H26)			第二期(H27~R5)		
	災害発生件数	管理延長(km)	発生頻度(件/年) 延長100km当り	災害発生件数	管理延長(km)	発生頻度(件/年) 延長100km当り
一般国道	9	760	0.2	34	760	0.5
主要地方道	11	843	0.2	34	823	0.5
一般県道	17	828	0.3	34	873	0.4
合計	37	2,431	0.3	102	2,456	0.5

通行止め原因	第一期(H21~H26)		第二期(H27~R5)	
	発生件数	通行止め時間	発生件数	通行止め時間
大雨・警報	17	256	50	925
冠水	29	69	78	350
路肩欠損	6	240	14	2,138
土砂崩れ	6	501	47	2,793
法面崩壊・落石	25	2,090	35	3,096
合計	83	3,156	224	9,302

【道路災害の状況】

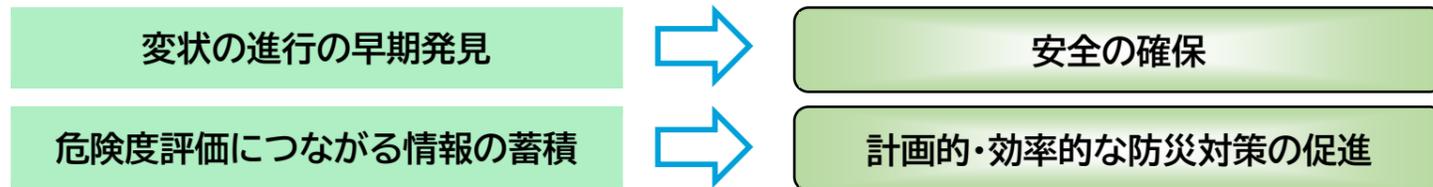
第二期事業計画において要対策と評価された 206 箇所に対して令和 6 年度末時点で 206 箇所の対策が完了し、その他、新たに対策が必要な箇所と合わせて 385 箇所の防災対策を実施しました。

		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	合計
要対策206箇所	計画	30	25	24	17	18	12	12	35	16	17	206
	実績	31	38	15	20	20	16	8	33	12	13	206
新たに発生する箇所	実績	30	29	20	6	7	14	38	21	8	6	179
合計(対策箇所数)	実績	61	67	35	26	27	30	46	54	20	19	385

災害危険度を知る(定期点検)

道路の災害発生危険性を的確に把握し、効率的な防災対策を実施することが重要です。

【点検の目的】



【定期点検の実施】

(要対策247箇所、カルテ対応1,909箇所)※R5 道路防災総点検結果等

●点検マニュアル

- ・長崎県では職員による定期点検(前回との比較を目視主体で実施)の手順や内容について「道路防災ポケット点検マニュアル」を改訂
- ・点検頻度の見直し基準等について随時見直しを実施

●研修

- ・定期点検に対する知識・技術の向上を図るために研修会を毎年実施

●定期点検

- ・1年に1～2回の職員やOB・道守による定期点検を実施



現場研修の開催状況



定期点検研修会の開催状況

戦略的な道路防災のために(第三期防災事業計画)

今後10年間(令和7～16年度)は、要対策箇所の早期完了を達成するために、防災対策を計画的に実施し道路の安全性を高めます。

【第三期防災事業計画】

防災事業計画	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	合計
要対策箇所	28	28	28	28	28	28	27	27	27	27	276
新たに発生する箇所	12	12	12	12	12	12	13	13	13	13	124
合計(対策箇所数)	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	400
事業費(億円)	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	240

- ・防災事業計画は、要対策箇所を優先して対策を進めていきます。令和16年度までに、400箇所の対策を予定しております。

【新技術の活用】

- ・道路防災点検において、新技術の活用により、「点検の効率化」を目指します。
- ・測量、設計、施工において、三次元データやICT等の活用により、「事業の効率化」や「質の向上」、「費用の削減」を目指します。

【事後評価】

●「蓄積データの分析・検証」

防災計画に従った防災対策工事の実績を蓄積するとともに、災害発生位置や箇所数、通行止め時間数等を、降雨などの気象条件とともに分析することにより、防災事業の計画策定方法や事業の進め方について5年毎にフォローアップを行います。

●「点検箇所の再評価」

10年毎に道路防災総点検を実施し、要対策箇所の見直しを行います。

計画の効果的かつ効率的な事業実施のために

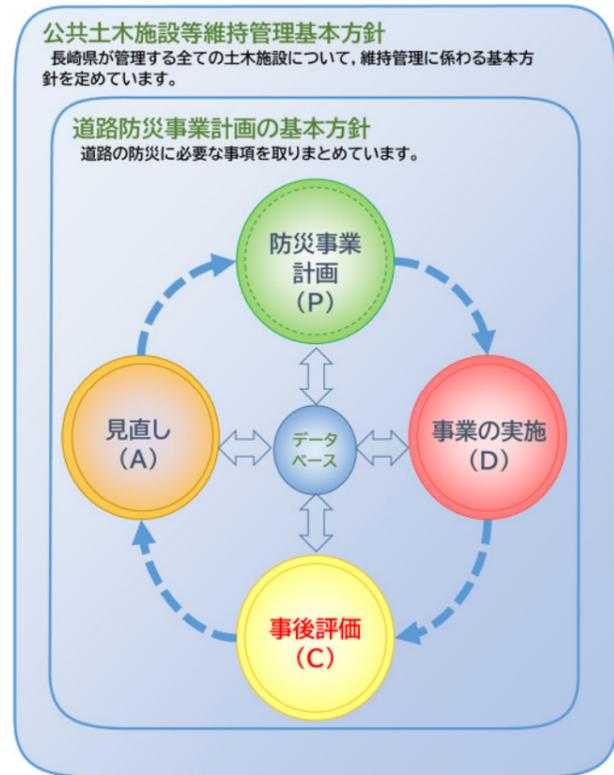
戦略的に防災対策を実施するため、「道路防災事業計画」を見直し、効果的かつ効率的に運用していきます。

【PDCA サイクルの実践】

道路防災事業のマネジメントサイクルを確実にまわしていきます(下図参照)。

【道路防災事業計画の精度向上や合理化への取組み】

- ・毎年の点検結果による斜面状態の最新の評価
- ・豪雨後等の臨時点検による被災状況の早急な把握
- ・過去の対策実績の効果・費用の蓄積と評価
- ・大雨等によって新たに発生する箇所のカルテ作成
- ・要対策箇所の優先順位の見直し



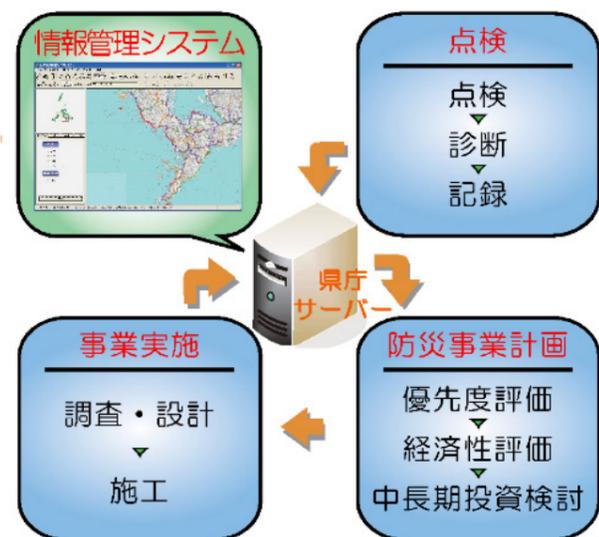
【防災事業計画のスケジュール】

	第三期道路防災事業計画											
	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
道路防災事業計画	→											
定期点検	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←
道路防災総点検	→									← (予定)	← (予定)	
道路防災事業計画の見直し	→				← フォローアップ	←				← (予定)	← (予定)	

道路の防災点検や実施計画を立てる作業を支援するシステムにより、効率的に作業を進めます。

【道路施設維持管理システムの構築と運用】

点検や対策、災害履歴などの情報を確実に蓄積し、日常業務の支援や事業全般の評価を行うため、道路施設維持管理システムを構築して運用します。GIS を用いた位置情報の管理や、防災データを蓄積し、次の計画の精度向上のために活用していきます。



長崎県 土木部 道路維持課

〒850-8570 長崎市尾上町 3-1 TEL 095-894-3144(直通) FAX 095-820-0683

ホームページ <http://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/machidukuri/doro-kotsu/ijikanri/>

令和 7 年 3 月